

卷下吉夫教授ご退職記念号
刊行に寄せて

京都でお生まれの巻下吉夫先生は、1971年に、関西学院大学経済学部専任講師に就任されました。そして、1975年助教授、1984年教授、2001年大学院言語コミュニケーション文化研究科修士課程指導教授、2003年同研究科博士課程後期課程教授にご就任になりました。その間、総合教育研究室副室長、経済学部学生主任などを担当されました。そして、35年間本学勤務の後、2006年3月に退職され、名誉教授になりました。

巻下先生は、関西学院大学において、ご専門の英語教育とともに1年次のゼミである基礎演習を長年にわたって担当され、先生の実証的な研究方法に基づいた教育を実践されてきました。先生は、基礎演習を、学生各自の問題意識を大切にしながら、観察、調査、議論、発表する体験の場とされてきました。また、外国語教育では、先生のもとで、学生たちは日本語らしい表現をいかに英語らしい表現に翻訳するかの練習を重ねてきました。

巻下先生は「日本語英語対照」という研究に一貫して取り組んでこられました。それは独自の視点や手法を用いながらの実証的な研究方法が特徴です。先生は、二つの言語を対照する場合、両語の類似点よりも差異性に焦点を絞り、そこから両語がそれぞれに持つ特異性を解明しようとされ、その際には実に多くの表現例を検討しながら英語表現の実態を論じようとされてきました。そして、多くの水準の高い書物や論文を生み出されました。「やさしい単語がむずかしい」という講義題目を掲げ、2006年1月10日に先生の最終講義が開かれましたが、日本語表現と比較しながら英語表現の面白さそして難しさを語られました。

このたび巻下先生のご退職に際し、先生の長年の研究・教育への多大なるご貢献に経済学部としての謝意を表すために、この記念号を発行することになりました。この趣旨にご賛同いただき、原稿をお寄せいただいた学内外の研究者の皆さんに、

厚く御礼申し上げます。また、編集にあられた『エクス』編集委員会のみなさん
および宇多田経済学部事務長に感謝いたします。

卷下先生の今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

2007年3月20日

経済学部長

根 岸 紳